

『授業連携報告書』

学校名	四日市市立三重小学校		
授業のテーマ	自分たちの住んでいる地球からは、様々な情報を得るために人工衛星を飛ばしている。その意味を理解し、人工衛星がどのような役割をしているのかを知る。そして、飛ばし方はプログラムされていることを知り、プログラミングについて学びきっかけとする。		
目標(授業連携をした目的等)	宇宙のことを知り、実際に自分でプログラミングを行うことで、プログラミングに関心をもつ。		
実施対象	学年	6	3 クラス 合計 80 名
授業科目	総合学習	科目「その他」の場合記入)	理科と関連
単元	自然とともに生きる	授業日	2 月 3, 4 日
授業連携の前後の授業内容について			
前	自分たちの住んでいる地球から、様々な情報を得るために人工衛星が飛ばされていることを知る。		
後	実際にプログラミングを行い、プログラミングに関心をもつ。		
時間配分	学習内容・活動	児童・生徒の様子	学校(先生)の役割・活動
導入 25 分	「人工衛星について」 自分たちの住んでいる地球では、様々な情報を得るために、人工衛星があることを知る。	・活動内容を把握するために話をしっかり聞いていた。 ・説明の中にクイズが入っており、興味をもって取り組む様子が見られた。	・本時の学習内容を確認するとともに、子どもたちの様子を観察・指導する。
展開 60 分	「プログラミングと人工衛星」 人工衛星の特徴を知り、その指示を地上から与えていることを知る。その指示は、プログラムによってコントロールされている。 「スクラッチの基礎と人工衛星のプログラミング」 スクラッチの基礎について知り、それを応用したミッション3つに挑戦する。	指示の与え方についての理解が早かった。 ミッションにも進んで挑戦していた。 自分ができたら、周りの子たちへ声をかけて、進んで助ける姿が見られた。	児童の補助をした。ミッションが進まない子どもには、教師や周りの子どもたちがかかわるようにした。
まとめ 5 分	「宇宙開発におけるプログラミングの役割」 ロケットの開発や打ち上げにもプログラミングが利用されていることを知る。	プログラミングやJAXAについての関心が高まった。	最後にお礼を言い、授業を終わった。

授業連携の感想・メモ

教師一人だけでは、指導していくことが難しいが、わかりやすく専門的に指導していただくことができてよかった。
プログラミング初体験であったため、理解度に差はあったが、ミッションの難易度がいくつも設定していただいていたので、それぞれに合ったチャレンジができた。

授業連携アンケート

①連携依頼票にご記入の「授業連携のねらい」は達成されましたか？	はい
②授業連携の前後で、児童・生徒の学習姿勢等に変化は見られましたか？	はい
※②で「はい」とお答えの方、どのような変化がみられたか具体的に教えてください。 プログラミングについて調べたりしたことを自主学習としてまとめた子どもがいた。インターネットなどで、人工衛星について調べる姿が見られた。	
※②で「いいえ」とお答えの方、その理由を教えてください。	